

目 次

『2021（令和3）年度奈良県立大学 研究報告』の発刊に際して	1
---------------------------------	---

1. 懸賞論文（卒業論文）

－最優秀賞－

コミュニケーションを支援するピクトグラムの検討

－病院や福祉施設の利用者の「感情」や「意思」に着目して－

中本 里奈 3

－優秀賞－

少女への良妻賢母教育

－明治・大正・昭和戦前期を中心に－

浅田 真子 26

－入選－

近世・近代における「花名所」の変化

－京都・大阪を例として－

奥田 美帆 50

現代日本の幸福な若者が抱く「不満」の正体

－小さな不満を愚痴り、共感し合う若者たち

並川 百合 70

障害者とその家族との「離れがたさ」

－きょうだい児をめぐる「媒介」の不在－

北岡 結 87

2. 学生グループ共同研究報告

なぜ子どもを産むのか

－選択の背景にある「出産の意味」とは何か－

研究代表者：北岡 結 共同研究者：久光美羽 111

ニュータウンの魅力再発見に向けた若者の「集まりの場」の条件

研究代表者：板倉大河

共同研究者：繁下龍平・小野寺真由・工藤遥奈

寺尾南美・堀 数馬・森岡真生 119

食で地域の魅力を伝達するための本質的な要素の考察 — 御杖村産レストラン活動を始めるにあたり行った調査を通じて— 研究代表者：小園智帆 共同研究者：青木千実・浅田千尋・甲斐 桜 青島萌華・中西千浦	128
ワークショップ実践によって構築するコロナ禍における自己と他者の関係 研究代表者：藤居燦志郎 共同研究者：永田真由・山本茉由	133
コロナ禍における中山間地域の祭りの継続性 — 土佐町宮古野地区・宇陀市菟田野地区を例に— 研究代表者：宮井芳暢 共同研究者：黒澤歩美・佐伯 亮・堀尾奈々 松本啓佑・村井颯真・山村紀幸 鍵本あみる・佐藤 巧・畠中光季 道方咲帆・南野優斗・向井優大	141
コロナ禍における芸術祭の企画に関する実践的研究 — 「MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館」への参画を通して— 研究代表者：田中綾花 共同研究者：内田わか葉・楠田彩奈恵・佐藤利香 鈴木千尋、村上雛子・森田歌音 渡邊ゆう・加藤奈津実・竹中寧音 東村美玖	148
近鉄奈良線の移設計画からみる交通と文化財 研究代表者：早野誠人 共同研究者：奥田浩史・中隈健人・藤田留伊	155
3. 卒業論文タイトル一覧	163
4. 研究報告書タイトル一覧	171
5. 教員の新刊書紹介	177